



憲法を踏みじり

自衛隊パラシュート初降下訓練に米軍が参加

毎年新年に行われている陸上自衛隊習志野演習場の第一空てい団(パラシュート降下部隊)の「降下訓練始め」に、初めて米軍が参加しました。正規の軍隊が訓練に参加することは憲法9条を踏みじりる行為であり許されるものではありません。

日本共産党が防衛省に抗議

1月8日に行われた陸上自衛隊第一空てい団(日本で唯一のパラシュート降下部隊)の「降下訓練始め」に米軍が初めて参加しました。これは昨年12月の日米合同委員会の承認を受けたものです。日本共産党は1月5日、斉藤和子衆議院議員や船橋・習志野・八千代3市の市議などが防衛



「降下訓練始め」で降下訓練を行った米軍のグリーンベレー部隊
11月8日・習志野演習場

参加した米軍はグリーンベレー

今回、降下訓練に参加したのは沖縄の読谷村トリスターションに所属する「在日米陸軍第一特殊部隊群第一大隊」の15人で、1月5日に陸上自衛隊習志野駐屯地に入り、そこで宿泊。事前の予行演習を行ったうえで8日の当日、



防衛省に抗議する斉藤和子衆議院議員や丸山慎一市議などの参加者
11月5日・衆院第一議員会館

省にたいして抗議を行いました。

9人が自衛隊と一緒に降下訓練を行ったものです。

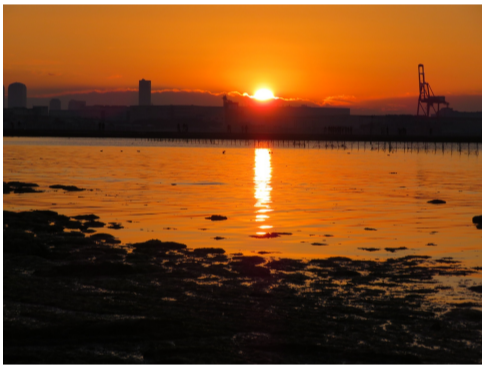
「第一特殊部隊群」は通称グリーンベレーと呼ばれており、総勢390人とされています。あらゆる地域に出動し、内戦への介入や破壊工作、特殊潜入及び偵察、テロへの対処などを任務としているのもとも戦術的攻撃的な部隊で、アメリカ本土のほかには日本の沖縄とドイツにしか常駐していません。

自治体側は抗議せず米軍を受け入れ

米軍の参加について防衛省は、千葉県に12月15日に説明を行っており、船橋、習志野、八千代の周辺3市には12月13日に説明しています。

自治体側からは、「国の専管事項なので賛否を表明するものではないが、やるのであれば住民の安心安全を確保してほしい」との意見が出されません。

元旦に三番瀬で初日を見る会が開かれました



三番瀬を守る会が毎年元旦に開催している「三番瀬で初日を見る会」が開かれました。今年は快晴で、朝7時前に日の出をはっきりと見ることができました。日の出の反対側には富士山もくっきりと姿をあらわし、その手前には葛西臨海公園の観覧車がよく見えます。

千葉県は、三番瀬保全の姿勢を後退させていますが、市民の手で守ろうとの思いがあらためて高まる初日となりました。

「お詫びと訂正」

前号(12月18日付・No.371)の2面「県議会議員選挙の区割り」と定数の記事の表で、「現行」の「飛び地」が「解消」とあるのは「3選挙区」の誤りでした。訂正しお詫び申し上げます。

憲法9条を持つ国で許されない訓練

もちろん、事故があつてはならず住民の安全確保は当然のことですが、安全ならいいということにはなりません。

米軍はれっきとした軍隊であり、その訓練を、憲法9条を持つ日本の国有地でやること自体、許されるものではありません。

丸山慎一県議 活動日誌

- 12・12 三番瀬を守る連絡会の対県第2湾岸道路構想撤回要請同席
- 12・13 県議会商工労働企業常任委員会出席
- 12・14 西習志野地域を訪問/船橋明るい会
- 12・15 県議団会議/知事にオスプレイ事故で申し入れ
- 12・16 明るい千葉県をつくる会対県要請同席/飯山満川対策懇談
- 12・17 三番瀬市民調査の会/地区党会議/輪っ子の会忘年会
- 12・18 日本共産党学者研究者後援会の集い
- 12・19 オスプレイ事故防衛・外務両省要請
- 12・20 県議会で討論
- 12・21 交差点電柱撤去現地調査/船橋革新懇の宣伝に参加
- 12・22 共産党前原東支部のみなさんと道路の安全対策で県要請
- 12・23 県政シンポジウム
- 12・24 県党会議
- 12・25 西習志野訪問
- 12・26 三番瀬を守る連絡会の対国第2湾岸道路構想撤回要請同席
- 12・27 県議団会議
- 12・28 塚田駅前宣伝
- 1・1 三番瀬で初日を見る会に参加
- 1・3 新春街頭宣伝
- 1・4 市役所前宣伝
- 1・5 千葉県商工団体連合会で県政報告
- 1・6 県議団会議/生活と健康を守る会
- 1・7 消防出初式
- 1・8 空てい団初降下監視行動参加/千葉土建船橋支部旗開き/平和委員会懇談会